

【保育士】

◎主な配属先、業務内容

■出先機関

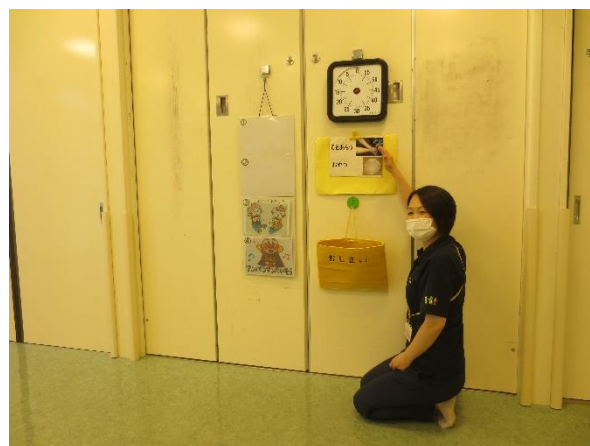
児童相談所 一時保護所
(総合福祉相談所 敦賀児童相談所)



- 一時保護された児童の生活指導、学習指導、行動観察など
- 日中に子どもたちと一緒に活動するだけでなく、宿直業務を行い、夜間の緊急保護にも対応

こども療育センター

- 対人面・行動面で気がかりがあるお子さんや重症の心身障害のある方に、保育や発達援助、健康相談等を実施
- 社会に適応した生活が送れるよう、保護者支援や地域療育支援を実施



【保育士】令和2年度採用



こども療育センター

畠田 汐里

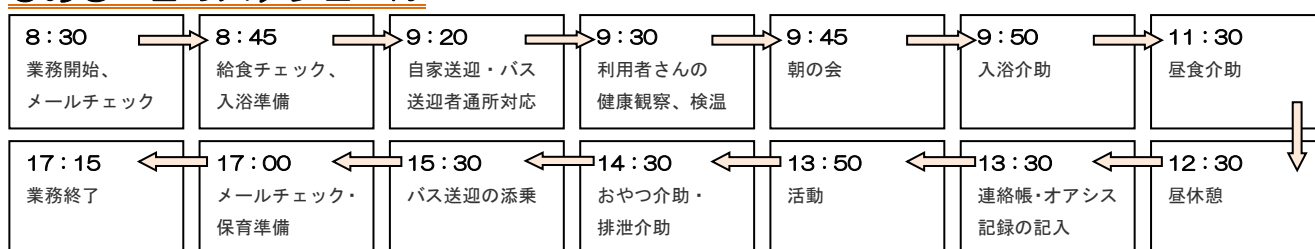
(佛教大学 社会福祉学部社会福祉学科 卒業)



【主な担当業務】

- ・こども療育センターの生活介護事業所「オアシス」において保育業務
- ・送迎バスの担当業務
- ・療育安全委員会業務

◎ある一日のスケジュール



◎福井県職員を志望した理由

大学で一度県外に出たことで、**自然が豊かで暮らしやすく、人と人とのつながりを大切にする福井県の良さ**に改めて気づき、就職は地元に戻ってしたいと思うようになりました。また、大学時代にサークルやボランティアで、障がいのあるお子さんと自然体験をしたり、家庭に事情を持ったお子さんに勉強を教えたりしたことがきっかけで、そのような方々と関わる仕事がしたいと思いました。**大学では保育士と特別支援教諭などの教員免許を取り、これらの免許を活かすことができる県職員の保育士を受験しました。**

◎仕事をはじめて感じていること、やりがい

現在はこども療育センターの生活介護事業所「オアシス」で保育業務をしています。最初の頃は初めてのことばかりで戸惑うことが多かったのですが、少しずつ慣れ、周りの方々に助けをもらいながら日々仕事に取り組んでいます。**自分が担当した活動や行事で利用者の方の喜んでいる姿を見ると、やってよかったと保育士としてのやりがいを感じます。**また、利用者さんの笑顔は私自身が活動を楽しみ、笑顔で関わると、それが伝わって利用者さんも笑顔になることに気がきました。これからも**笑顔を大切にしながら働いていきたいです。**

◎採用試験対策

教養試験は出題範囲が広いので、数的処理などの出題数の多い科目を優先的に勉強し、比較の出題数が少ない科目は、勉強する科目を絞って対策を行いました。

また、**専門試験は参考書と問題集を1冊に絞り、何度も繰り返して勉強しました。参考書は福祉の分野が詳しく書かれているものをお勧めします。**

面接対策は大学の就職支援室を利用して練習したり、教員採用試験を受ける友人と一緒に練習をしました。**数をこなして面接に慣れること**で落ち着いて質問に答えられると思います。

◎後輩たちへ一言

こども療育センターだけでなく、総合福祉相談所や和敬学園など、様々な場所で経験を積むことができます。また、**多職種の方と関わる機会が多く、幅広い知識と豊富な経験が得られることも魅力だ**と思います。